

令和5年度 北海道本別高等学校 学校評価のまとめ

	本校の経営方針及び指導上の重点事項	自己評価			学校運営協議会評価	
		主な成果と課題 (● 課題印)	R5	R4		改善の方策 (● 課題解決)
学校経営	<p>学校運営協議会との協働により、高校と地域が一体となった特色ある教育活動を推進する。</p> <p>① 教科科目の授業や探究活動を通して、問題解決能力、創造力、主体的行動力の育成を図る</p> <p>② 学習評価に関する研究を推進し、指導と評価の一体化を図る。</p> <p>③ 進路意識の高揚を図り、主体的に進路探究に取り組む態度の育成を図る。</p> <p>④ 教育課程全般を通して、協働的、コミュニケーション能力、遂行力の育成を図る。</p> <p>⑤ 生徒が安心して学べる環境の維</p>	<p>○本校の現状と課題及び教育改革の動向等を踏まえた学校経営方針及び目指す学校像を示し、教職員の共通理解を促進した。</p> <p>○校内研修を実施して各教科毎の観点別学習評価の方向性を示し、ICTに係る研修機会を設け、授業等への活用を促進した。</p> <p>○地域連携校としてのメリットを有効活用し、生徒の進路実現に向けた講習、模擬試験の事前・事後指導、「まなびの部屋」の活用による個別指導など、主体的な学びにつなげる取組を充実させ結果に結びつけることができた。</p> <p>○教職員が全生徒の状況について情報を共有し、困り感を抱えている生徒に対して、保護者、SC及び関係機関と連携し支援した。</p> <p>●<b>教科・科目における探究的学びの推進と教科横断的学習の充実</b></p> <p>●<b>CSコーディネーターの人材確保と役割の明確化</b></p> <p>●<b>保護者への情報提供等の充実</b></p>	3.5	3.4	<p>・地域資源を活用した活動への理解を図りながら、さらに高校の魅力化・特色化を推進</p> <p>・学校規模に応じた教育活動の実施</p> <p>・学校HPや学校だよりによる地域・保護者への情報発信の充実</p> <p>・学習評価の適切な実施と改善のサイクル確立</p> <p>・模試の事前事後指導、「まなびの部屋」の活用や通信などによる取組の活性化</p> <p>・各教科・科目の関連付け及び見える化する取組</p> <p>・CS関係者や地域の関係機関との情報共有（コンソーシアムの活用）</p> <p>●<b>CSコーディネーターによる地域と学校を繋ぐ役割の強化</b></p> <p>●<b>「学校だより」による保護者への情報提供</b></p> <p>●<b>学校評価アンケートの評価項目を工夫・改善</b></p>	<p>・情報発信については、ホームページ掲載以外の方法として、新聞や町広報誌への掲載機会が増加したことは高く評価できる。</p> <p>・町民が触れる機会の多い媒体の有効活用が必要。</p> <p>・小規模ながら高い進路目標を実現できる環境であることは評価に値する。</p> <p>・生徒の安全・安心を確保できている。</p> <p>・探究活動の他にも、コーディネート機能が必要な事業があるため、学校と地域をつなぐ役割を担う人材の確保が必要である。</p> <p>・地域の各種機関との日常的な連携が必要である。</p> <p>・情報提供の方法やアンケートの評価項目等を改善する必要がある。</p> <p>・地域への情報発信には課題が残る。</p>
学習指導	<p>① 生徒個々の特性に応じた指導や支援を行う。</p> <p>② 基礎的・基本的な知識を着実に獲得させる。</p> <p>③ 授業改善を推進し、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。</p> <p>④ 探究活動を通して、課題を解決し新たな価値を創造する力を育成する。</p> <p>⑤ 国際交流を通して、英語力とともに国際的な視野を育成する。</p>	<p>○基礎的・基本的な知識を習得させる個別指導を行うなど、一人ひとりの生徒の学習状況を捉えながら指導できた。</p> <p>○ICTを活用した授業が一部の教科から全体へと広げ、活用に向けた研修を充実させることができた。</p> <p>○継続して探究コーチの支援を得て成果をあげているが、より地域と密着した活動となるよう令和6年度の計画をしている。</p> <p>●<b>海外研修に係る事前・事後研修及び報告会等の充実</b></p> <p>●<b>ビジネス系の科目の設定による地域課題解決型学習の土台づくり</b></p>	3.3	3.1	<p>・教育課程の適切な管理と恒常的な検証</p> <p>・授業研究と授業実践の地域への積極的な公開と魅力ある授業展開</p> <p>・BYODに伴い、ICT活用の促進と個別最適な学びの推進</p> <p>・総合的な探究の時間の年間計画に基づく確実な実施と探究コーチの支援</p> <p>●<b>海外研修に係る事前学習を町教委と協働し充実</b></p> <p>●<b>令和7年度教育課程の編成に際し、生徒の学びの選択肢を多様にするための研修と検討</b></p>	<p>・総合探究だけでなく、他の教科・科目でも地域と連携した授業展開が望ましい。</p> <p>・総合的な探究の時間は、昨年度の取組から飛躍的に学びの質を高めている。</p> <p>・英語教育に関しては、小学校低学年時からの取組とその継続性が重要である。</p> <p>・海外研修の事前事後研修を充実させ、英語に親しむ環境づくりを高める必要がある。</p> <p>・とちか創生学は、まちづくりへの貴重な提案であり、生徒が取り組む姿勢は高く評価できる。</p> <p>・町の人的支援が教育活動を支えている。探究学習の成果が進路実績等にも現れている。</p> <p>・海外研修はよい取組であり、本別高校にとって小中学生とその保護者に対するPRの好材料となる。</p>
生徒指導	<p>① 「地域から信頼される」生活態度や生活習慣の形成を目指す。</p> <p>② 生徒が安心して学べる「いじめ」のない健全な学習環境を形成し維持する。</p> <p>③ 生徒会活動を充実させ、主体的に行動できる生徒を育成する。</p> <p>④ 生徒、保護者、教員の三者協議による校則の見直しを行う。</p>	<p>○集会時における生徒指導部による講話や、生徒指導部だよりなどにより自己指導力の育成が適切に行われている。</p> <p>○SCとの連携を図った教育相談をもとに教育支援委員会がなされ、生徒理解の促進及び適切な支援がなされている。</p> <p>○いじめ防止基本方針に則り、いじめ防止対策委員会を開催するとともに、職員全体で情報共有するなど、いじめや問題行動等の防止と早期の対処ができています。</p> <p>○学校祭では生徒の主体的な活動がなされ、教職員と保護者が適切に活動をサポートした。</p> <p>○非行防止や安全行動に関する注意喚起のほか、生活全般の注意を促す通信を発行するなど、家庭との連携を図った。</p> <p>○教員や外部指導者の協力のもと、生徒会、HRや部活動などが行われており、生徒の自主的・自発的な活動が促されている。</p> <p>●<b>組織的な校内体制及び対応の充実と関係機関との連携強化</b></p> <p>●<b>部活動外部指導員の人材確保と連携</b></p>	3.3	3.2	<p>・生徒情報の共有化、関係機関や家庭と連携した継続的な生徒理解と支援</p> <p>・いじめ防止基本方針に基づいた指導と組織的な対応の徹底</p> <p>・主体性を育む生徒会活動の実践と学校祭等における地域との交流等の検討</p> <p>・非行や生徒事故の予防に係る生徒の自己指導能力の育成</p> <p>●<b>いじめ防止等に係る研修の促進</b></p> <p>●<b>部活動外部指導員の人材確保に係る町体育協会等との連携</b></p>	<p>・いじめ等の不安がなく、生徒が安心して学校生活を送れていることは高く評価できる。</p> <p>・生徒の活躍を外部へ発信したり、生徒が外部へ出ていく機会を増やすようにしてほしい。</p> <p>・地域連携校となり、多くの活動において協力校との交流がなされており評価できる。</p> <p>・生徒、教職員ともに防災に対する意識が高い。</p> <p>・あらゆる教育活動を通して、生徒のコミュニケーション能力を高めたり、いじめ防止になっている。</p> <p>・やりたい部活動ができないという理由で、本別町から他の高校に進学する生徒が多く残念である。</p> <p>・学校内ですれ違う際に挨拶してくれる生徒が減ったと感じている。</p> <p>・町内義務教育との情報共有や連携を一層充実させる必要がある。</p>
進路指導	<p>① 早期から生徒の状況に対応した個別の進路指導を実施し、進路意識の向上と進路の実現を図る。</p> <p>② 進路の実現に向けて、講習の受講、模擬試験、資格取得の受験に積極的に取り組ませる。</p>	<p>○進路に対応した個別指導がなされており、さらに進路情報についての提供に努めた。</p> <p>○就職・進学ガイダンスに積極的に参加を促すなど就職指導の充実に努めた。</p> <p>○個別指導の充実により、一般入試で国公立大学医学部看護学科に1名の合格者を出すことができた。</p> <p>●<b>地域連携校の強みを活かした個に応じた進路指導体制の充実</b></p> <p>※ <b>R5進路決定状況:国公立大1名・私立大11、専門学校9名、就職5名・公務員1名</b></p> <p>●<b>地域連携校のメリットを活かした受験対策指導の充実</b></p> <p>●<b>中学校と連携した系統的なキャリア教育の充実</b></p>	3.2	3.0	<p>・キャリア教育の全体計画の作成と計画に基づいた取組の推進</p> <p>・定期的な進路希望把握と指導の一体化</p> <p>●<b>主体的な学びを促すため、模試の事前事後指導、ICTの活用、放課後の「まなびの部屋」の活用などによる個別支援の充実</b></p> <p>●<b>地域連携協力校との連携事業拡充</b></p> <p>●<b>CSコーディネーターを介して中学校との連携</b></p>	<p>・探究的な学習と地域連携校のメリットが生徒の進路に活かされはじめています。</p> <p>・キャリア教育について、小中学生が高校生と関わる効果は大きいですが、教育課程上、頻繁に行うことは難しい。</p> <p>・海外研修がスタートしたこともあり、グローバル人材の育成という観点も強く持つべきである。</p>
健康・安全指導	<p>① 教科・科目の授業、総合的な探究の時間、特別活動（HR活動、生徒会活動、学校行事）、外活動を通して、身体的・精神的に良好な状態を維持するとともに、他人とともに協調する心や、自他を尊重する心、感動する心を</p>	<p>○学校保健委員会を定期的に開催し、学校医から助言をもとに健康指導を実施した。</p> <p>○不登校など困り感を抱えている生徒への対応を、教育支援委員会で情報共有し、全教職員で対応するなど支援を継続した。</p> <p>○体育的行事の充実、部活動や同好会など課外活動の促進、運動に親しみ体力の向上や、協働的な活動を一層充実させる必要がある。</p> <p>●<b>関係機関と連携した生育歴や家庭環境等の把握と対応の充実</b></p> <p>●<b>体育的行事の充実、部活動や同好会など課外活動の促進</b></p>	3.4	3.3	<p>・保健・安全計画及び個別の指導計画の周知徹底</p> <p>・体育健康や各種活動に関する情報提供、各部活動・同好会の充実など取組の工夫</p> <p>●<b>外部機関との連携による情報共有と協働体制の構築</b></p> <p>●<b>関係機関と連携した体育的活動や部活動における地域人材の活用促進</b></p>	<p>・町内関係機関との連携により、生徒の状況把握が可能となるため、情報交換を行いながら指導を継続してほしい。</p> <p>・地域人材が関わりやすい環境にするなど、地域総合型文化スポーツクラブや部活動の地域移行との関係等から、持続可能なあり方を探る必要がある。</p>

※自己評価における数値は、各項目を「4・・・十分達成できている。3・・・達成できている。2・・・やや不十分である。1・・・不十分である。」で全教職員が自己評価した平均値